

基本情報



【年齢】
50歳
【出身地】
神奈川県 鎌倉市
【転出元】
東京都渋谷区
【前職】
マスコミ関連
【活動時期】
R3.12～

協力隊に応募したきっかけ

数年前に中部地方でサービスで提供されたジビエ料理を食べた後から狩猟に興味を持ち、銃とわなの狩猟免許を取得しました。趣味として活動できるような環境を探していた時に、小学生の頃に遊びに来たことのある鋸南町での募集情報を知り、前職の契約期間のタイミングと重なっていた事もあり、思い切って応募に至りました。

今後の抱負・任期後の目標

有害鳥獣対策を担当していますが、それ以前に「地域おこし協力隊」として、これまでの様々な経験を活かして、地域の活性化に貢献したいと思っています。任期後の目標は漠然としていますが、有害鳥獣対策だけではなく、町内で生活している方々のあらゆる困りごとを解決できるような役割を担っていける立場になれば良いなと考えています。

活動内容

● 獣道を見つけてくりわなを設置

町民からの通報や相談を受けて、町役場の職員と検討の上、箱わなやくくりわなの設置を行います。現場を訪れ、有害獣の足跡や何かしらの形跡が残っていないのかを調べた上で、わなの設置位置を決めていきます。創意工夫が問われる作業です。



● 有害獣の町内一斉捕獲に参加

町から任命された実施隊員が一堂に介して、有害獣が潜んでいる棲息地に、猟犬と共に入って「巻狩り」を実施します。猟犬が追い込んだイノシシ、シカ、キョンが立ち位置に逃げてくるのを待って、散弾銃で仕留めるといった流れで行われます。



● 大型の囲いわなで一網打尽

対象となる有害獣の中にニホンザルとアカゲザルが含まれます。ヒトと近い種族ですが、群れで行動するという特徴があります。それを活かした囲いわなを町有害鳥獣対策協議会が数台購入。町民の方々の協力で組み立て、餌付けから捕獲までの全てを行っています。



連絡先